

知覚動考

寒河江市立南部小学校
校長室だより
2025.4.22

「誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり」

Shapes of happiness (幸せのかたち)

私は40年来、松田聖子さんのファンです。この度、新曲がリリースされました。「shapes of happiness」(作詞作曲 榎原敬之)という曲です。(歌詞 右参照)この曲を聞いた時に、「南部小学校の学校経営の考え方が歌になっている!」と嬉しくなったのでご紹介します。

あなたは誰とも違う 私も誰とも違う 幸せの形も違うはず

日本は、モラルがある国民性だと言われています。これはこれで素晴らしいことですが、見方を変えれば、「同調圧力」が強い国だとも言えます。みんなと同じようにしなければいけない。そんな中で、もしかしたら、生きづらさを感じている人もいるのかもしれませんが。学校教育においては、不登校が2024年度の報告で約35万人になりました。また、この数字には含まれず、我慢してなんとか学校に通ってきている子供もたくさんいることは、容易に想像することができます。学校生活が自分には合わず、辛い思いをしているのです。

そう考えた時に、今、学校教育のあり方が問われているのではないのでしょうか。みんな同じようにすることをよしとするのではなく、一人一人が全く違う**唯一無二の存在**であるということを理解し、一人一人に合った教育(個別最適な学び)の仕方を模索していかなくてはいけないのではと考えています。一人一人が違って当たり前。他人と比較することなく、その**子供を大切に**見とっていく目を大人一人一人が養っていく必要があると思います。

幸せ見つける力 私たちはもっている

子供を幸せにする。第7次山形県教育振興計画にも示されている「一人一人の**ウェルビーイング**」を目指すことが本県教育の目標です。しかし、**一人一人のウェルビーイング(幸せ)は違う**のです。勉強ができることが幸せ。運動ができることが幸せ。学校に通えることが幸せ。美味しいご飯が食べられるのが幸せ。歌詞にもあるように、一人一人の幸せの形は違っていいし、決して、幸せの形を押し付けていいものではありません。学校教育として大事にしたいことは、子供を幸せにすること。これも大きな責務ではあります。ですが、それ以上に大切なのは、**自分の幸せを自分で見つける力を育てていくこと**だと思っています。幸せ見つける力とは、あまりにも抽象的過ぎますが、南部小学校としては、どんなに時代が変わっても、次の4つの力が子供たちに身につけば、自分で自分の幸せを見つけ、幸せを自分のものにできるのではないかと考えています。

その力とは・・・

- ①自分で考え行動する力(自律)
- ②踏み出す力(挑戦)
- ③人を大切にする力(尊重)
- ④考え抜く力(創造)

誤解を恐れずに言えば、この4つの力が身につけば、幸せに生きていけるだけではなく、目に見える学力(いわゆる点数で測れる学力)も向上すると信じています。

ちなみに、上記の曲は you tube にアップされていますので、興味のある方はアクセスしてみてください。

<https://youtu.be/wJV3lZ6VtkE> (松田聖子オフィシャル you tube チャンネル)

あなたは誰とも違う
私も誰とも違う
幸せの形もそう
それぞれ違うはずよね
あなたにはあなたのため
私には私のための
ぴったりはまる幸せの
形が必ずあるの

幸せ見つける力
私たちは持っている